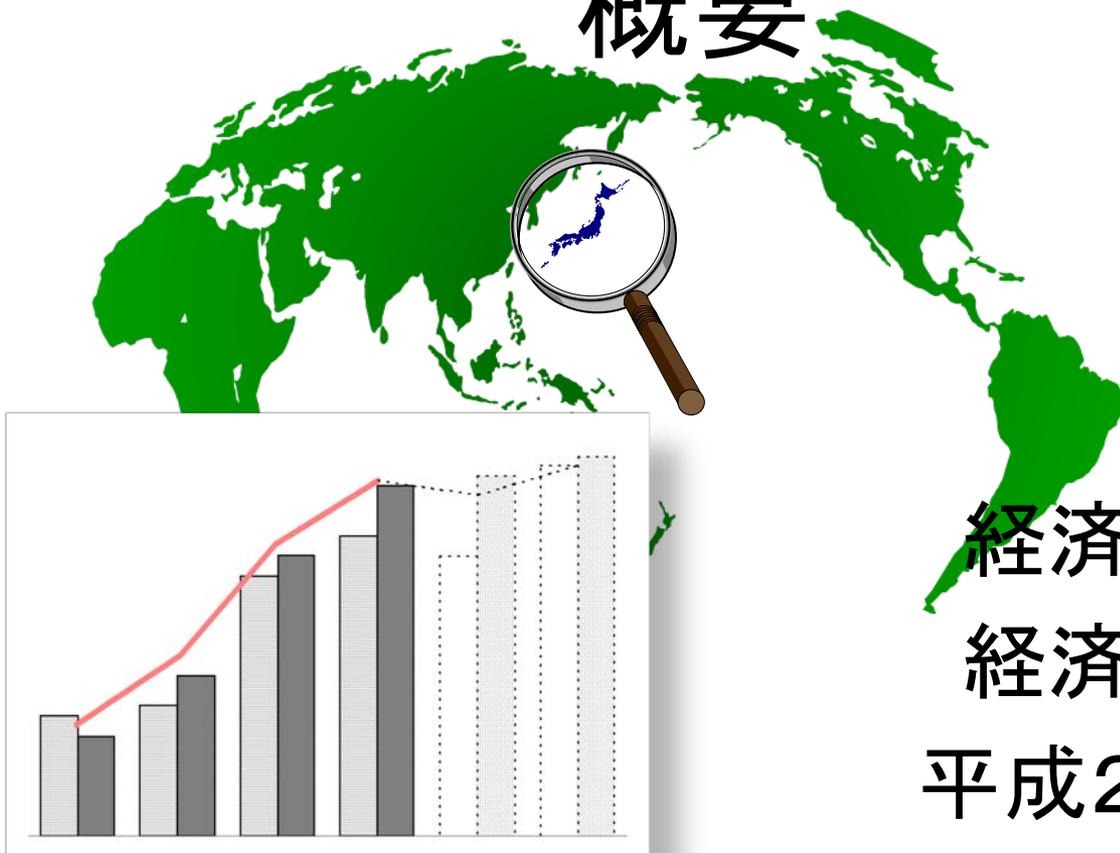


# 平成27年1～3月期の産業活動

## 概要



経済産業省  
経済解析室  
平成27年5月

# 目次

---

## 【本資料の内容】

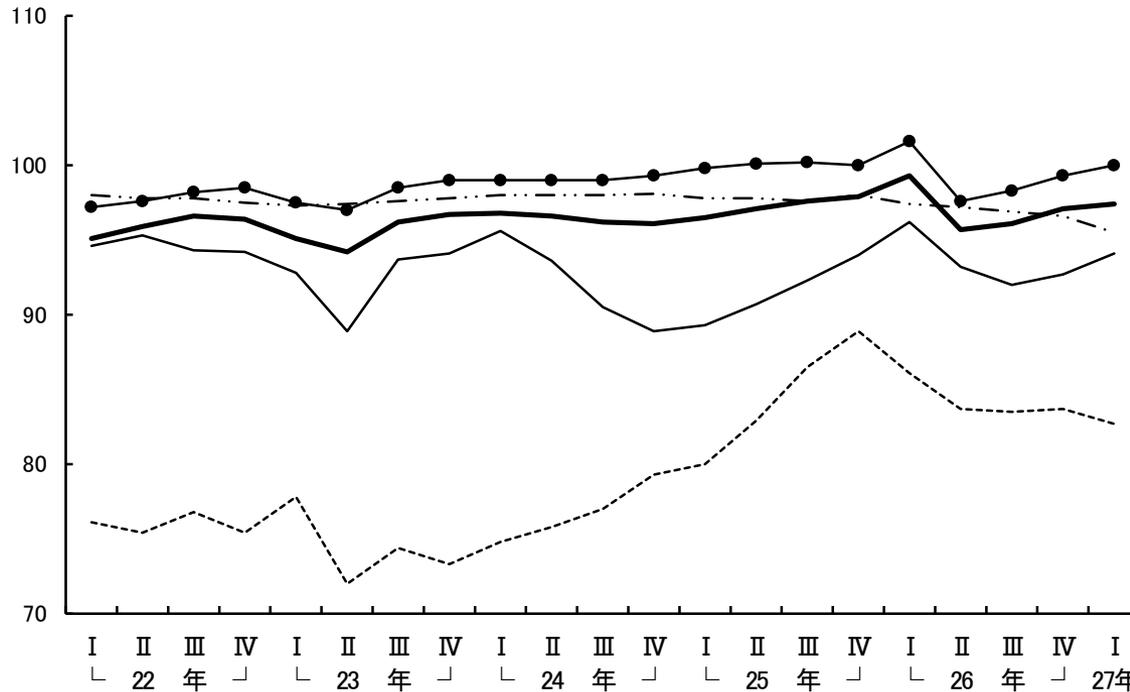
- 1 全産業活動の概要
- 2 鉱工業活動の概要（生産、出荷、在庫）
- 3 製造業の国内及び海外現地法人による出荷動向
- 4 生産能力・稼働率指数の概要
- 5 第3次産業活動の概要
- 6 輸出動向、輸入動向

- (注) 1. 本稿における年の表示は和暦であり、元号は特記しない限り原則として平成である。
2. 四半期別伸び率寄与度は、特記しない限り前期比伸び率に対する寄与度である。なお、個々の系列毎に季節調整を行っているため、内訳の寄与度の積み上げと全体の伸び率は一致しないことがある。

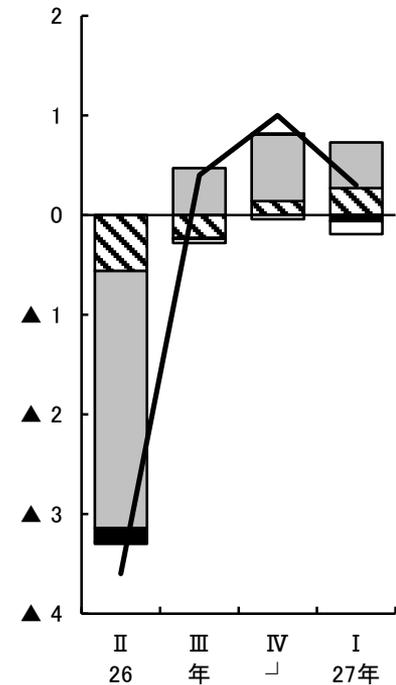
# 全産業活動の概要

- ・27年1～3月期は、前期比0.3%と3期連続の上昇。建設業活動が低下となったものの、第3次産業活動、鉱工業生産が上昇。

指数水準(17年=100、季節調整済)



前期比、伸び率寄与度 (%)



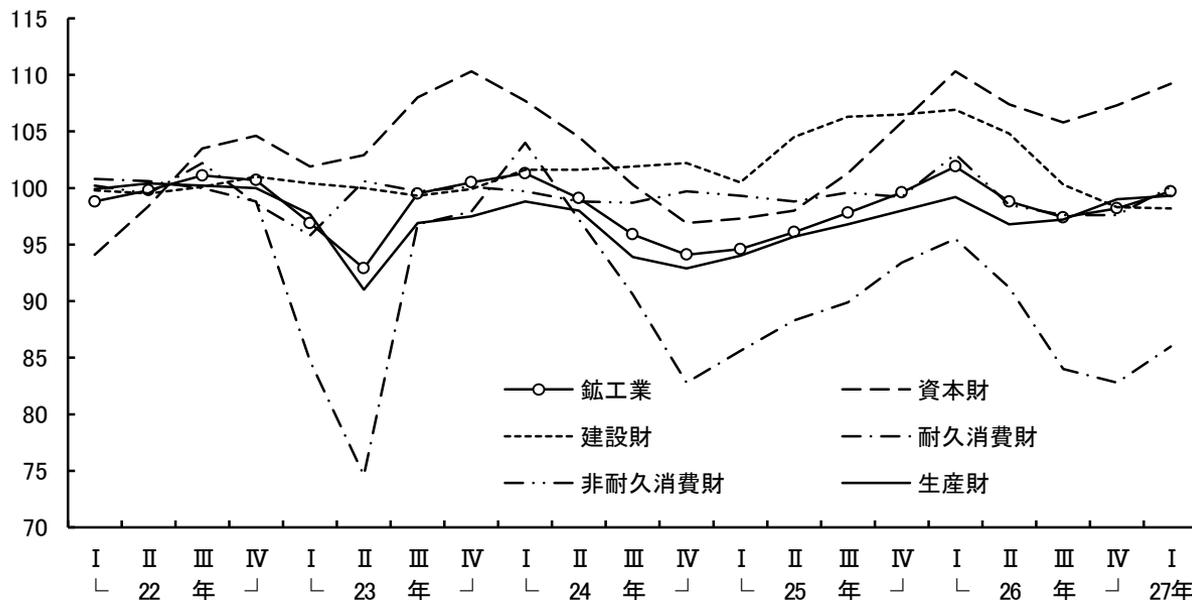
- 全産業活動指数
- 鉱工業生産指数
- 公務等活動指数
- 建設業活動指数
- 第3次産業活動指数
- 鉱工業生産指数
- 建設業活動指数
- 全産業活動指数

(資料)経済産業省「全産業活動指数」より作成。

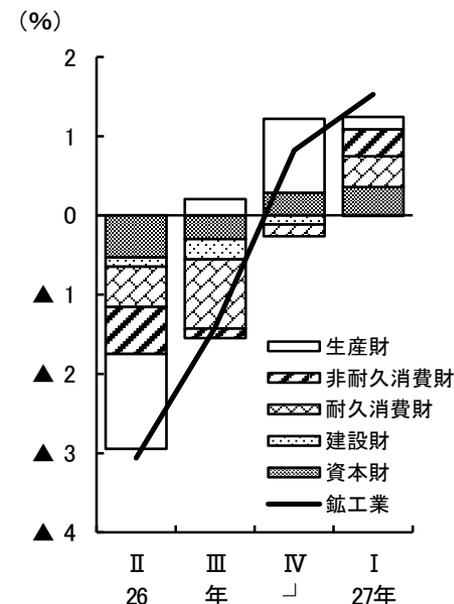
# 鉱工業活動の概要 「生産動向」

- ・27年1～3月期は、前期比1.5%と2期連続の上昇。
- ・財別にみると、耐久消費財、資本財などが上昇。
- ・業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業など12業種が上昇。

鉱工業生産指数(財別)の推移  
(22年=100、季節調整済)



前期比、伸び率寄与度



(資料)経済産業省「鉱工業指数」より作成。

# 鋳工業活動の概要 「品目別動向」

## ○増加した主な品目

- ・普通乗用車
- ・アクティブ型液晶素子(中・小型)

## ○減少した主な品目

- ・モス型半導体集積回路(メモリ)
- ・水管ボイラ

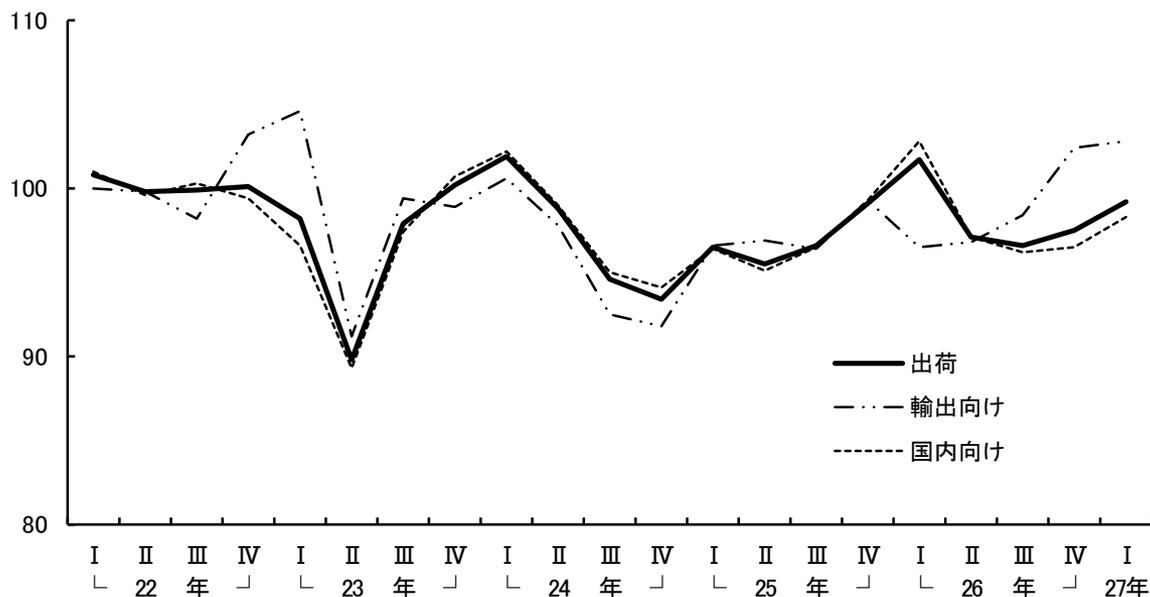
生産の品目別前期比及び寄与度(27年1~3月期)

上昇寄与品目	前期比(%)	寄与度(%ポイント)	低下寄与品目	前期比(%)	寄与度(%ポイント)
1)普通乗用車	7.6	0.40	1)モス型半導体集積回路(メモリ)	▲ 9.6	▲ 0.15
2)アクティブ型液晶素子(中・小型)	18.6	0.21	2)水管ボイラ	▲ 21.9	▲ 0.09
3)反応用機器	235.3	0.15	3)太陽電池セル	▲ 25.4	▲ 0.07
4)マシニングセンタ	18.7	0.14	4)分析機器	▲ 14.0	▲ 0.07
5)シャシー・車体部品	5.2	0.07	5)航空機用機体部品(プロペラ・回転翼を含む)	▲ 8.3	▲ 0.07

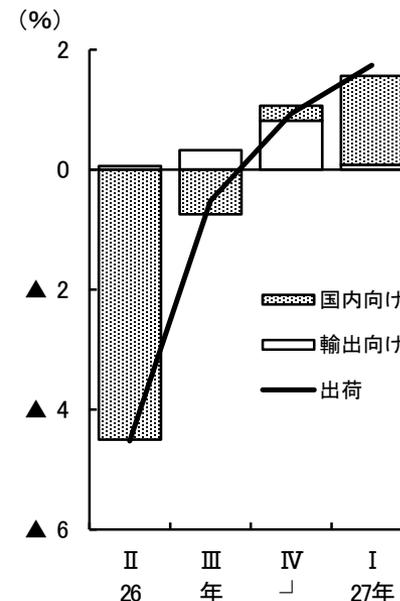
# 鉍工業活動の概要 「出荷動向」

・27年1～3月期は、前期比1.7%と2期連続の上昇。内外需別にみると、国内向けは2期連続の上昇、輸出处は4期連続の上昇。

鉍工業出荷指数に対する輸出处・国内向け出荷の推移  
(22年=100、季節調整済)



前期(年)比、伸び率寄与度



(資料)経済産業省「鉍工業出荷内訳表」より作成。

# 鉱工業活動の概要

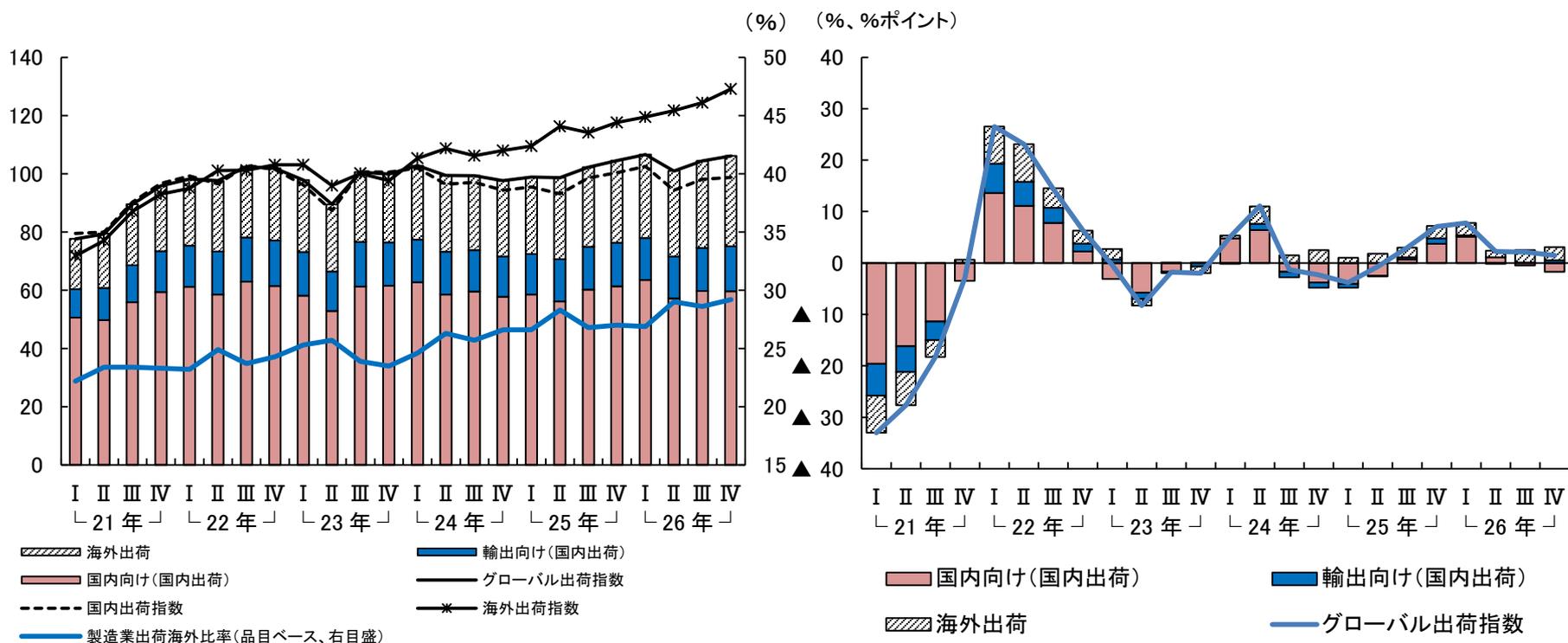
## 「製造業の国内及び海外現地法人による出荷動向について」

- ・ 26年10～12月期のグローバル出荷指数は前年同期比1.5%と6期連続の上昇。  
内訳をみると、国内向け出荷が同▲2.9%と2期連続の低下、輸出向け出荷が同3.7%と2期連続の上昇、海外出荷が同9.8%と12期連続の上昇。
- ・ これを前年同期比寄与度でみると、国内向け出荷が▲1.7%ポイント、輸出向け出荷が0.5%ポイント、海外出荷が2.6%ポイント。

### グローバル出荷指数の推移

グローバル出荷指数の内訳別（製造業、22年=100）

国内出荷、海外出荷の内訳別（前年同期比、伸び率寄与度）



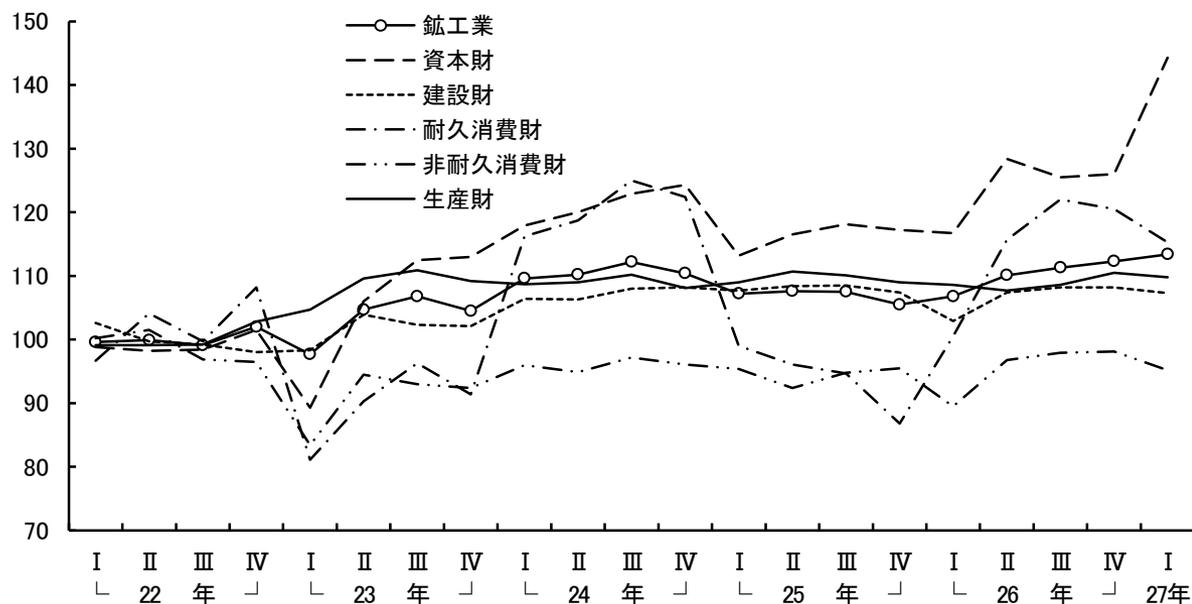
(資料)経済産業省「グローバル出荷指数」(試算値)より作成。

グローバル出荷指数についてはこちら(ミニ経済分析掲載URL) : <http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikeizai/pdf/h2amini016j.pdf>

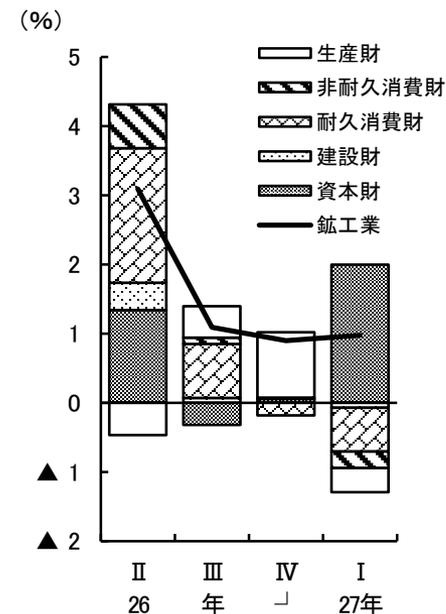
# 鋳工業活動の概要 「在庫動向」①

- ・27年1～3月期は、前期末比1.0%と5期連続の上昇。
- ・財別にみると、資本財が上昇。
- ・業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業など6業種が上昇。

鋳工業在庫指数(財別)の推移  
(22年=100、季節調整済)



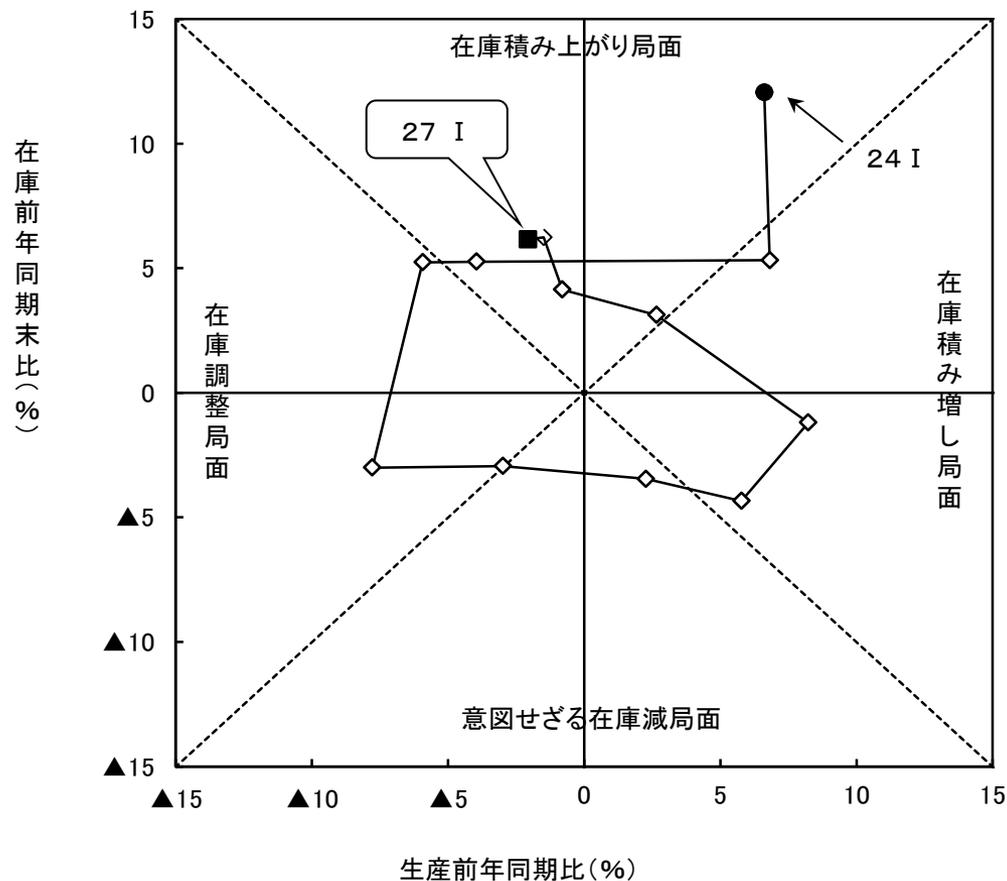
前期比、伸び率寄与度



(資料)経済産業省「鋳工業指数」より作成。

# 鋳工業活動の概要 「在庫動向」②

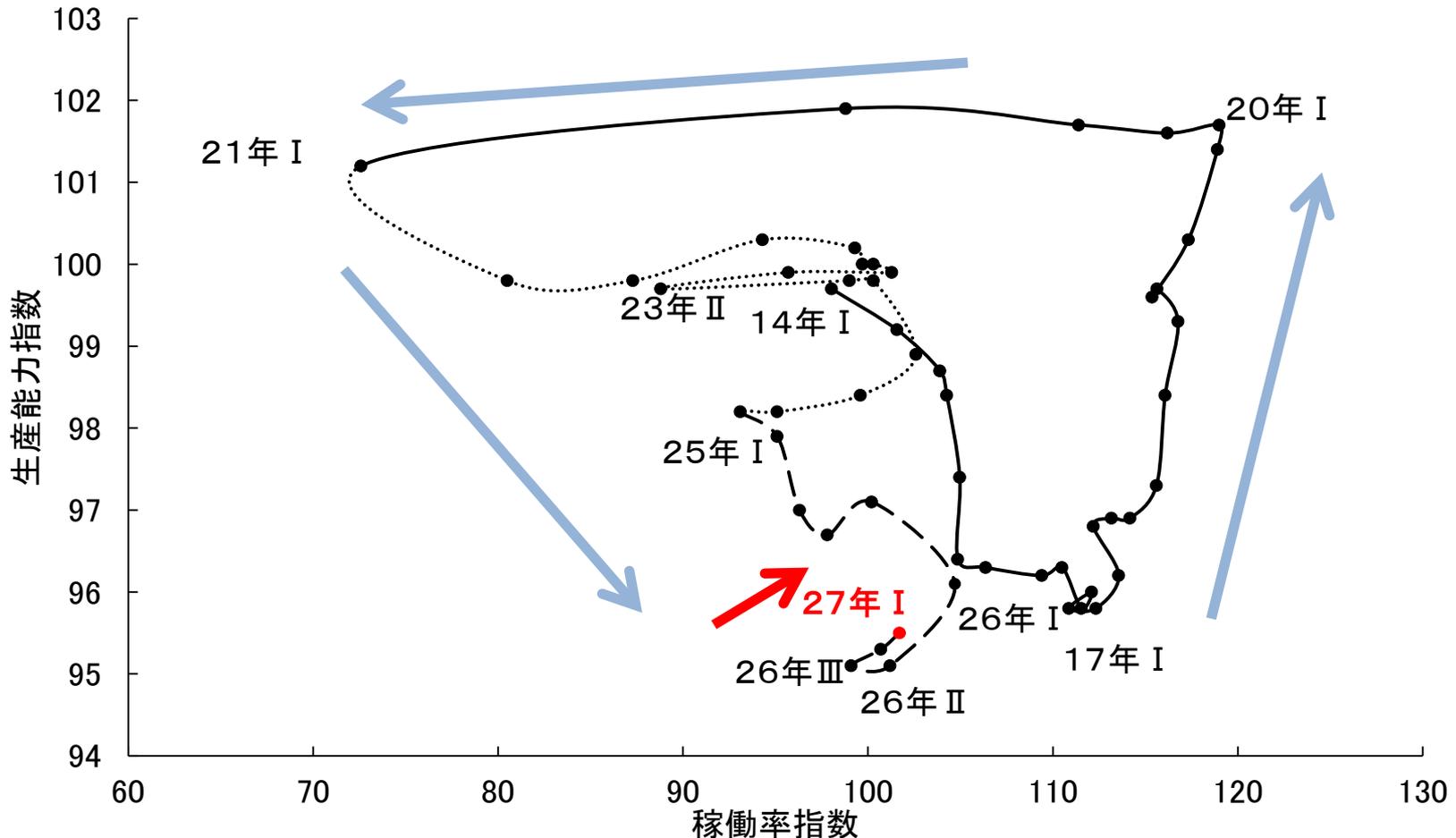
- 在庫循環をみると、鋳工業の27年1～3月期は、引き続き「在庫積み上がり局面」。



# 生産能力・稼働率指数の概要

- 27年1～3月期の生産能力指数(期末)は、95.5(前期比0.2%)と2期連続の上昇、稼働率指数は101.7(同1.0%)と2期連続の上昇となった。

生産能力指数－稼働率指数の循環関係(22年=100、季節調整済)

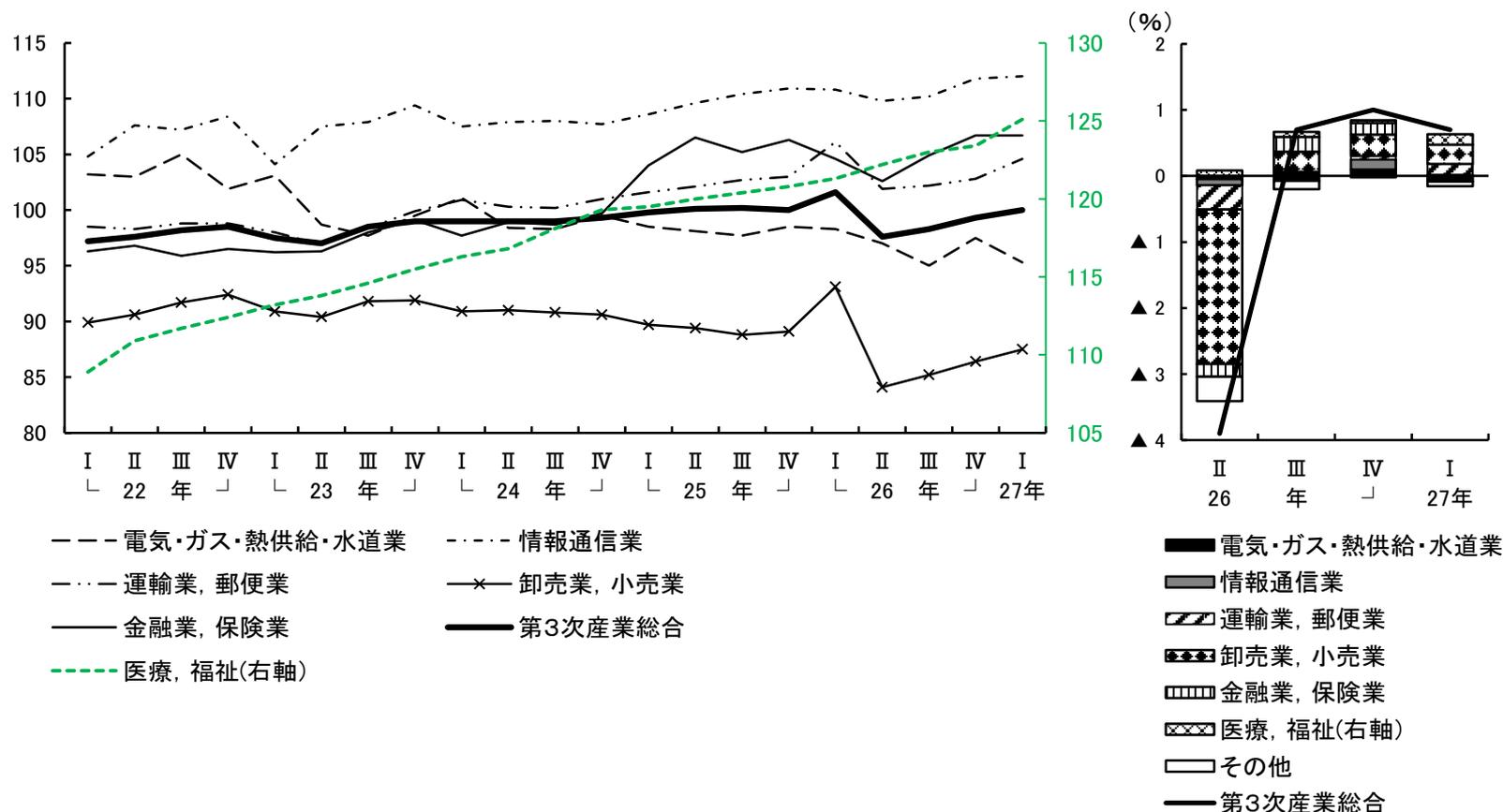


(資料)経済産業省「製造工業生産能力指数・稼働率指数」より作成。

# 第3次産業活動の概要「業種別の動向」

- ・ 27年1～3月期は、前期比0.7%と3期連続の上昇。業種別にみると、卸売業，小売業が3期連続の上昇となるなど、大分類13業種のうち7業種が上昇。

第3次産業活動指数主要業種の推移(17年=100、季節調整済)



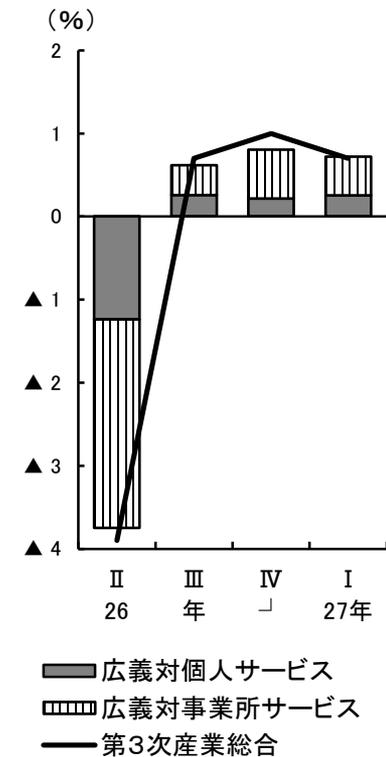
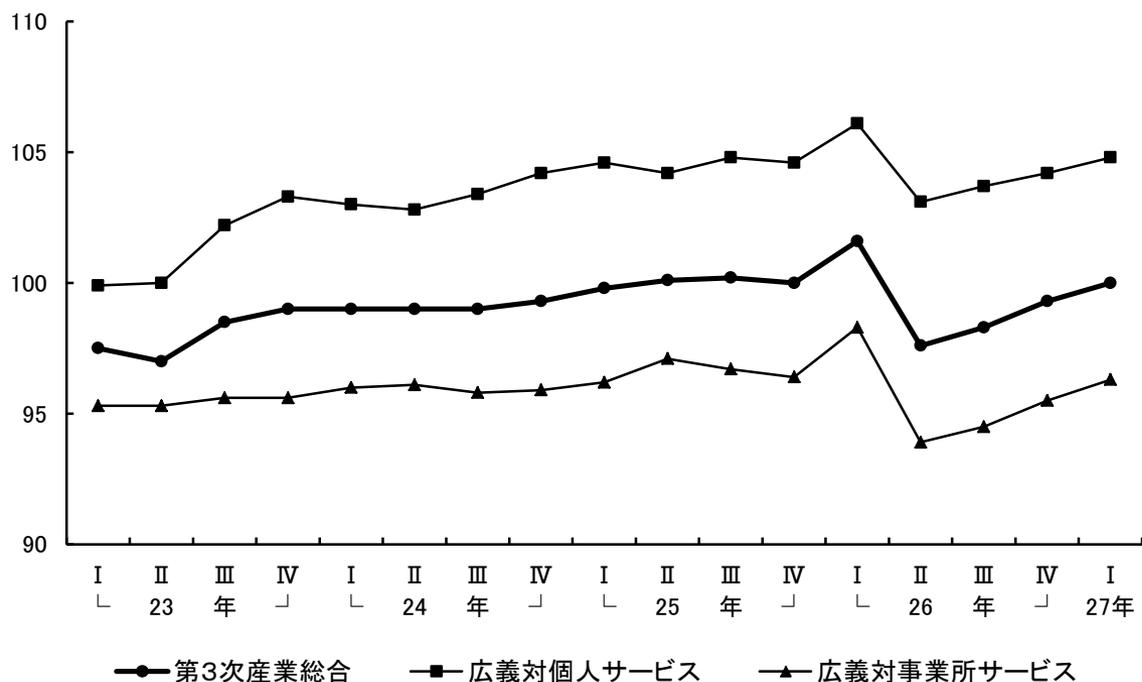
(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

# 第3次産業活動の概要

## 「広義対個人サービスと広義対事業所サービスの動向」

- ・ 27年1～3月期は、広義対事業所サービスが前期比0.8%、広義対個人サービスが同0.6%とともに3期連続の上昇。

広義対個人サービスと広義対事業所サービス指数の推移  
(17年=100、季節調整済)

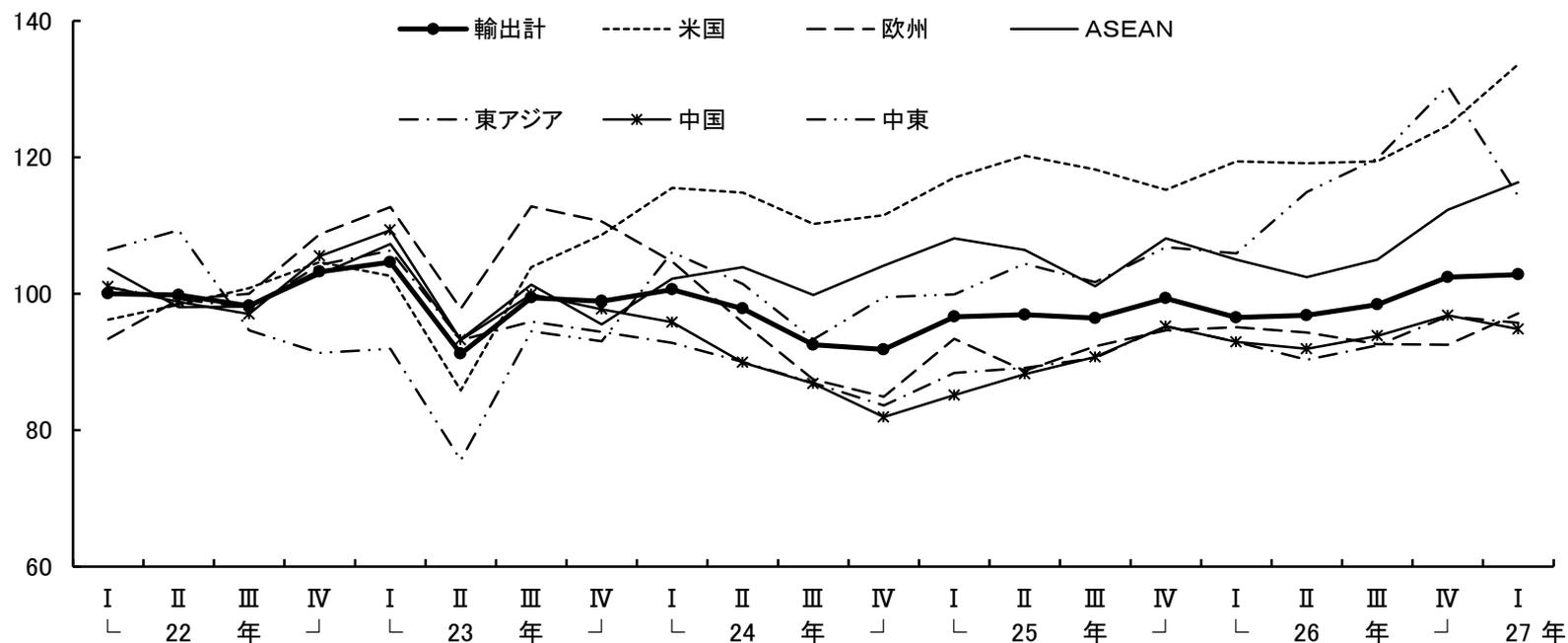


(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

# 「輸出動向」

- ・ 27年1～3月期をみると、財の輸出(鉱工業)が前期比0.4%の上昇。  
地域別にみると、米国、欧州、ASEAN向けが上昇。一方、中東、東アジア向けが低下。

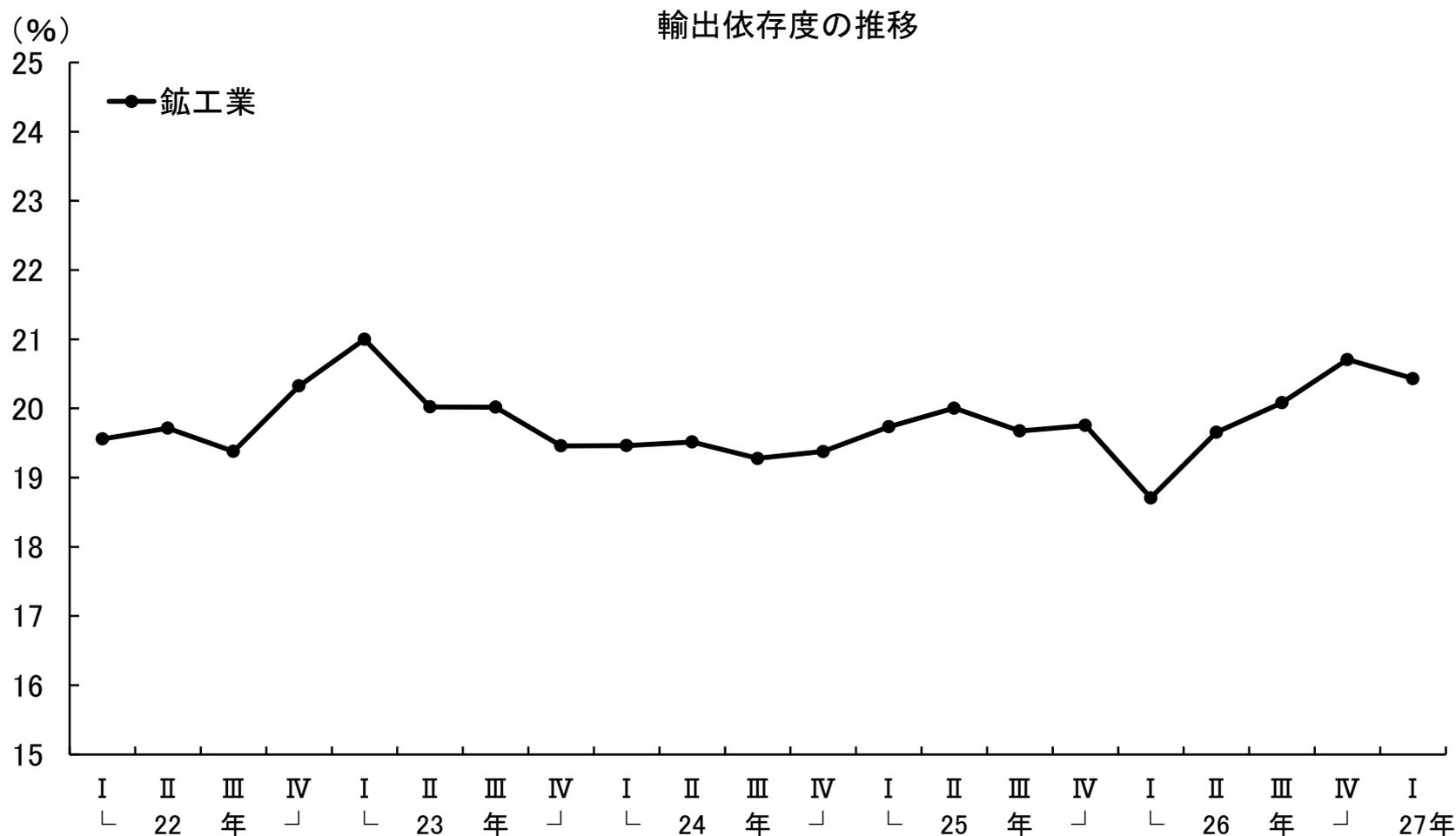
地域別輸出の推移(財、22年=100、季節調整済)



(資料)経済産業省「鉱工業出荷内訳表」より作成(試算値)。

# 「輸出依存度の動向」

- ・ 輸出依存度(鉱工業の出荷全体に対する輸出品の割合)は20.4%と4期ぶりの低下。



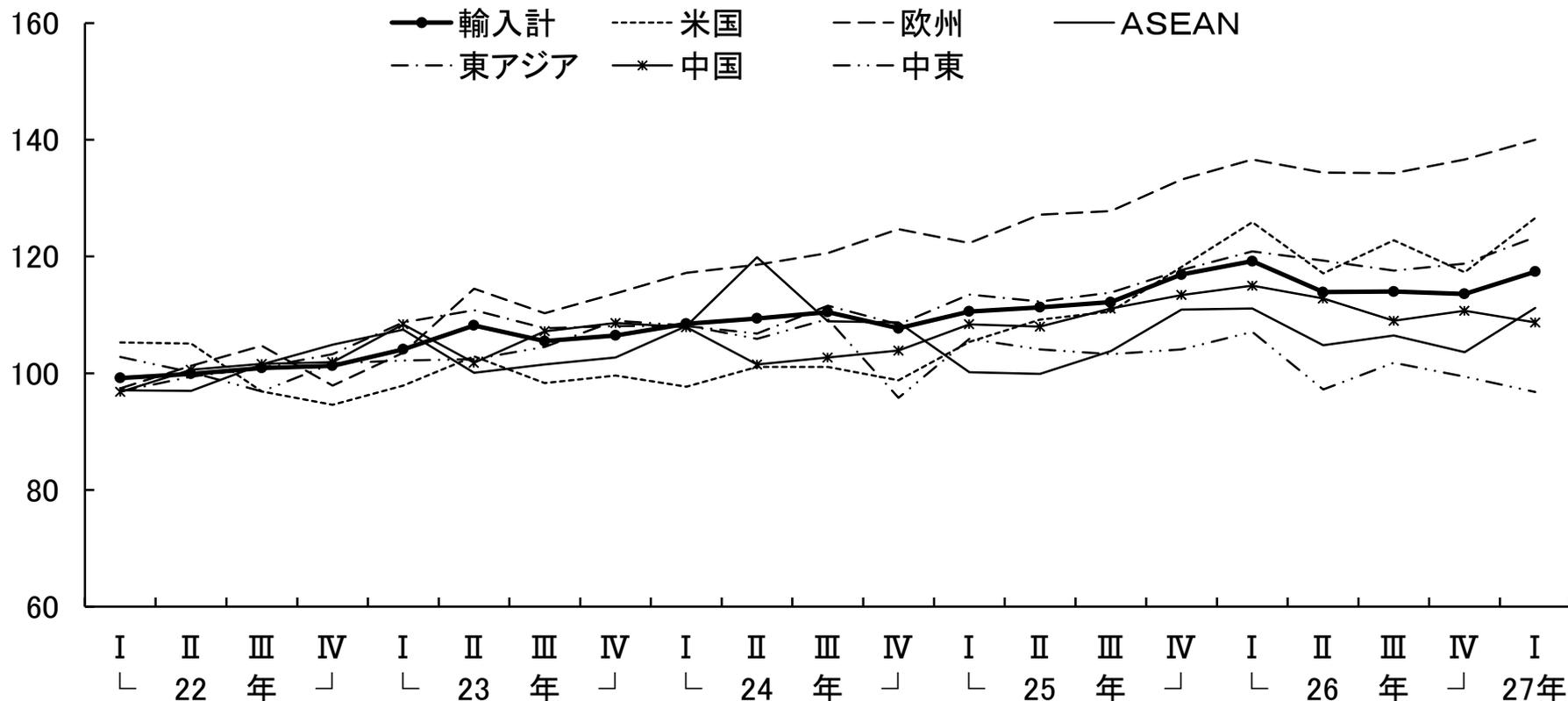
(注) 輸出依存度 = (鉱工業及び各財の輸出向け出荷指数 × 輸出向け出荷ウェイト) / (鉱工業及び各財の出荷指数 × 出荷ウェイト) × 100

(資料) 経済産業省「鉱工業出荷内訳表」より作成。

# 「輸入動向」

- ・ 27年1～3月期の財の輸入(鉱工業)は前期比3.3%の上昇。  
地域別にみると、米国、ASEAN、東アジア、欧州からの輸入が上昇。一方、中東からの輸入が低下。

地域別輸入の推移(財、22年=100、季節調整済)

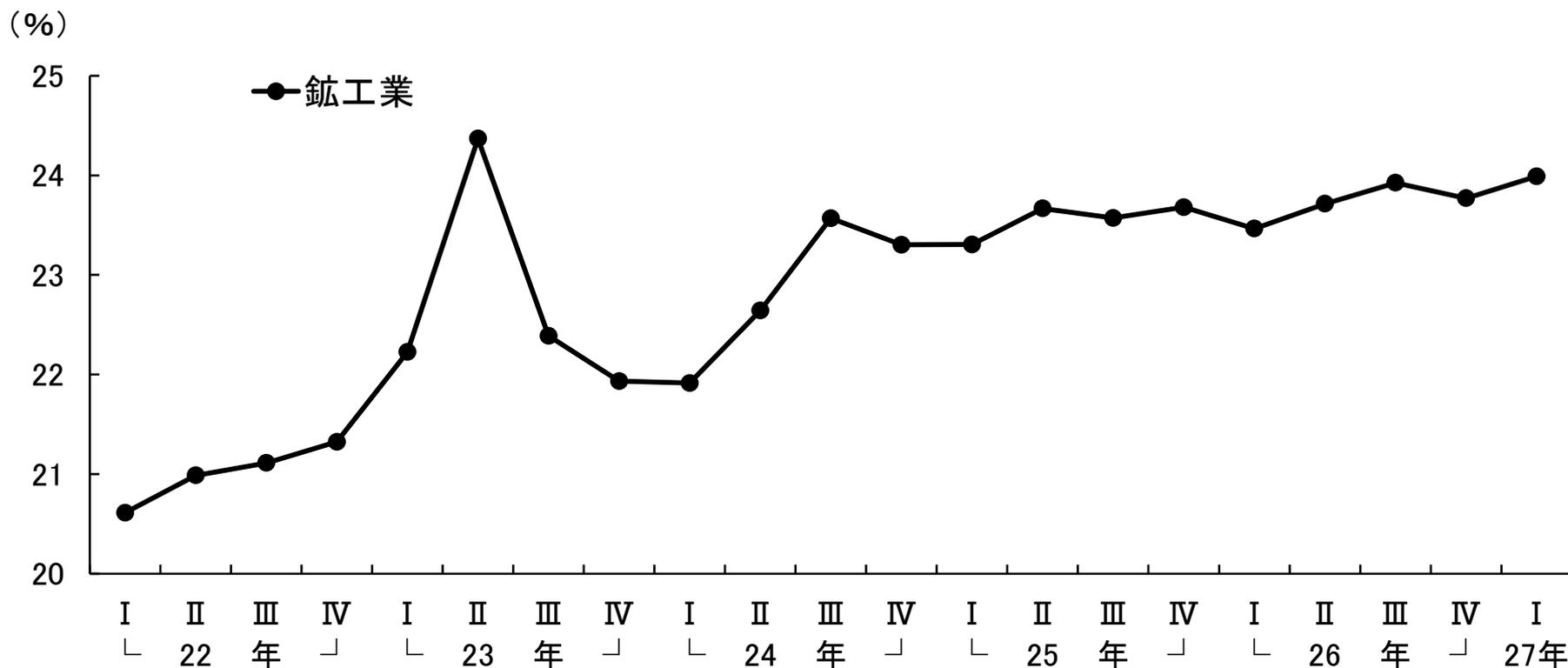


(資料) 経済産業省「鉱工業総供給表」より作成(試算値)。

# 「輸入浸透度の動向」

- ・ 輸入浸透度(鋳工業の供給全体に占める輸入品の割合)は24.0%と2期ぶりの上昇。

輸入浸透度の推移



(注) 輸入浸透度 = (鋳工業及び各財の輸入指数 × 輸入ウェイト) / (鋳工業及び各財の総供給指数 × 総供給ウェイト) × 100

(資料) 経済産業省「鋳工業総供給表」より作成。